

今後の課題と対策について

参考資料4

(信州医療センター)

質問		回答
①現状認識する短期的課題	医療 (大項目1)	1. 医療機器の故障等に伴う更新対応
	経営等 (大項目2,3)	2. (収益面)延入院患者数の減少傾向 3. (費用面)賃金上昇や物価高騰による諸費用の増加 4. (投資等)施設・機器の老朽化に伴う修繕や更新費の増加
②現状認識する中長期的課題	医療 (大項目1)	5. 医療体制の維持(産科、二次救急) 6. 医師をはじめとする人材の確保
	経営等 (大項目2,3)	7. (収益面)人口減少に伴う患者数の低下 8. (費用面)賃金上昇や物価高騰による諸費用の増加 9. (投資等)施設・機器の老朽化に伴う修繕や更新費の増加
③①②への対策	医療 (大項目1)	1. 慎重な更新判断、収支改善による投資財源の確保 5. 産科医の確保、県や須高地域市町村を交えた検討(産科)、当直医の確保(二次救急) 6. 本部事務局と連携した計画的な人材の確保
	経営等 (大項目2,3)	2. 7. 救急患者の積極的な受入の継続、DPC入院期間Ⅱ以内退院率の向上、人間ドック受診者の増、積極的な診療報酬加算等算定に伴う診療単価の増 3. 8. 業務委託仕様の見直し、診療材料の共同購入によるコスト削減、ICT導入や業務効率化による人件費・経費の抑制 4. 9. 施設設備・機器の状況を把握し、資金収支を意識した計画的な修繕・更新を実施。必要度・緊急度により投資順位を厳格化

今後の課題と対策について

(こころの医療センター駒ヶ根)

質問		回答
①現状認識する短期的課題	医療 (大項目1)	1. ・「子どものこころ総合医療センター」開設に向けた入院・外来看護体制一元化、治療標準化(クリニカルパス整備)
	経営等 (大項目2,3)	2. ・(収益面)精神科地域包括ケア病棟入院料の継続 3. ・(費用面)職員給与費率の抑制(100%以内) 4. ・(投資等)一
②現状認識する中長期的課題	医療 (大項目1)	5. ・「子どものこころ総合医療センター」を開設。入院・外来の治療体制を強化
	経営等 (大項目2,3)	6. ・(収益面)病床利用率の目標未達(81%) 7. ・(費用面)職員給与費率の抑制(100%以内) 8. ・(投資等)一
③①②への対策	医療 (大項目1)	1. 5. ・外部コンサルの助言を元に、看護体制一元化及びクリニカルパスの運用試行と検証を継続的に実施
	経営等 (大項目2,3)	2. ・外部コンサルを活用し、シミュレーションを元に9月末まで継続的に検討 3. 7. ・退職不補充による職員数の削減。超過勤務の縮減 4. 8. 一 6. ・新規入院患者の確保。診療報酬の新規加算算定及び入院料の最適化

今後の課題と対策について

(阿南病院)

質問		回答
①現状認識する短期的課題	医療 (大項目1)	1. ・医師不足(県派遣に頼らない機構採用常勤医師の確保)
	経営等 (大項目2,3)	2. ・(収益面)患者数の減少(とりわけ外来患者) 3. ・(費用面)物価高騰、人件費上昇 4. ・(投資等) -
②現状認識する中長期的課題	医療 (大項目1)	5. ・今後の下伊那南部地域の医療に関する町村との連携
	経営等 (大項目2,3)	6. ・(収益面)人口減少に伴う患者数の減⇒収益悪化 7. ・(費用面)老朽化した医療機器の更新 8. ・(投資等)昭和の時代に建設された東館・西館の建替え
③①②への対策	医療 (大項目1)	1. ・医師紹介機関の活用 5. ・町村との課題共有、連携策の検討
	経営等 (大項目2,3)	2. ・健診機能の充実による受診者数の増加 3. ・職員数の適正化による人件費の抑制 4. ・ - 6. ・診療単価を上昇させる、病床機能の見直し 7. ・医療機器更新のための運営費負担金の増額 8. ・建替えのための運営費負担金の増額

今後の課題と対策について

(木曾病院)

質問		回答
①現状認識する短期的課題	医療 (大項目1)	1. インシデント報告総数に対する0(ゼロ)レベル報告比率、入院患者の転倒・転落発生率及び針刺し切創件数の悪化
	経営等 (大項目2,3)	2. (収益面)入院患者数の減少 3. (費用面)物価高による費用の増加
②現状認識する中長期的課題	医療 (大項目1)	5. 分娩体制について 6. 小児科の診療体制について 7. 人材の確保 8. 救急外来受診の適正化
	経営等 (大項目2,3)	6. (費用面)施設、設備の老朽化に伴う修繕費の増加 7. (投資等)施設、設備の老朽化
③①②への対策	医療 (大項目1)	1. 職員の安全意識向上のため、実践を交えた指導と定期的な教育や研修の実施 5. 外来診療体制の維持及び産後ケアの充実 6. 診療体制を維持できるよう、県、信州大学、県立病院機構含めて検討中 7. 拘束体制の見直し等による勤務環境の改善及び高校生医療体験やサポートスタッフの活用等による医療スタッフの確保策の実施
	経営等 (大項目2,3)	2. 7対1入院基本料の取得に向けた取り組みの実施 3. 複数者による競争の実施及び職員との協働によるコスト抑制 6. 修繕の内製化の継続及び計画的な修繕の実施 7. 今後の地域医療を踏まえた病院のあり方についての検討(県と協議)

今後の課題と対策について

(こども病院)

質問		回答
①現状認識する短期的課題	医療 (大項目1)	1. 三次医療圏を超えた患者ニーズに対応するため、小児補助人工心臓治療の実施体制整備と装置導入を検討
	経営等 (大項目2,3)	2. 医療の質及び病院機能向上の為、病院機能評価受審を行い質改善活動を継続 (診療報酬要件維持:地域医療支援病院等) 3. 診療材料の調達支援・共同購入を活用した、価格交渉等による診療材料費の削減 4. 多様化する患者家族ニーズに応じた療養環境の改善
②現状認識する中長期的課題	医療 (大項目1)	5. 経常黒字【病床利用率】の維持 令和6年度目標:79.6% 実績:68.6%
	経営等 (大項目2,3)	6. 経常黒字【医業収支比率】の維持 令和6年度目標:82.5% 実績:73.8% 7. 委託業務の仕様変更、委託範囲の見直し等による委託経費の削減 8. [次年度]多様化する患者家族ニーズに応じた療養環境の改善
③①②への対策	医療 (大項目1)	1. 対応するスタッフへの教育、長期入院となる療養環境の整備 5. 小児二次救急医療輪番参加
	経営等 (大項目2,3)	2. 患者(職員)満足度調査の実施、及び病院機能評価受審(12月予定) 3. NHA選定品の採用率向上のための院内調整の継続 4. 第2病棟、北4階病棟の改修工事の実施 6. 長野赤十字病院小児循環器外来への医師派遣 7. 委託業務仕様変更・範囲見直しの継続・拡大 8. [次年度]第1病棟の改修工事の実施

今後の課題と対策について

(信州木曾看護専門学校)

質問		回答
①現状認識する短期的課題	医療 (大項目1)	1. ・受験者数及び入学者数の減少
	経営等 (大項目2,3)	2. ・(収益面)学生数の減少による収益減 3. ・(費用面)
②現状認識する中長期的課題	医療 (大項目1)	4.・学生数の維持及び教員の確保、育成
	経営等 (大項目2,3)	5.・(収益面)学生数の減少による収益減 6.・(費用面)施設設備等の老朽化による修繕費等の増加
③①②への対策	医療 (大項目1)	1,4 ・専門実践教育訓練講座の運用 ・社会人入学試験を実施 ・高校訪問先追加、在学生による出身高校訪問事業の実施 ・指定校推薦追加及び推薦基準の評定値見直し ・ホームページの更新、イベントへの参加など広報活動 ・教員の計画的な採用と教員養成講座等の受講
	経営等 (大項目2,3)	2,5. ・(収益面)学生数を維持することによる収益確保 3,6. ・(費用面)施設設備等の計画的な更新及びメンテナンス

今後の課題と対策について

(本部事務局・本部研修センター)

質問		回答
①現状認識する短期的課題	医療 (大項目1)	1. ·信州医師確保総合支援センター分室としての県との連携の強化(研修センター)
	経営等 (大項目2,3)	2. 医業収益の増加 3. 材料費及び経費等の削減 4. 資金収支の改善
②現状認識する中長期的課題	医療 (大項目1)	5. ·信州医師確保総合支援センター分室としての役割を最大限発揮するための今後のあり方について、県と協働して検討を行うこと。(研修センター)
	経営等 (大項目2,3)	6~7. ·業務運営の改善及び効率化・本部事務局のガバナンスの強化 8. ·各病院等で資金収支を意識した投資を行う体制の構築
③①②への対策	医療 (大項目1)	1・5. ·医療政策課及び医師・看護人材確保対策課へ実績報告書の提供及び内容説明並びに定期的な意見交換の実施 ·医師・看護人材確保対策課長等の初期研修医シミュレーショントレーニング見学及び意見交換(7月)
	経営等 (大項目2,3)	2. コンサルの提言を受けながら、各病院において患者一人当たり単価増各種加算の算定強化、在院日数の調整等の取組を推進する。なお、定期的に各病院と進捗管理を行う。 3. 外部コンサルタント等の活用や共同購入の推進等により、診療材料・医薬品等の適切な管理によるコスト削減に努める。また、委託業務については、委託費検討WGにて仕様書の見直し等を検討 4. 2, 3の取組を並行して進め財務バランスの改善を図る。 8. 月次決算報告における、各病院等(本部含む)の資金収支分析を踏まえた経営状況報告の実施 6~7. ·機構未来プロジェクトによる取組の推進及び強化策の検討